

「サステイナブルキャンパス構築」国際シンポジウム
持続可能な環境配慮型大学構築のためにハードとソフトのネットワークをつなぐ
(ハードとソフトの融合)

概要

持続可能な社会の実現が求められて久しく、また目まぐるしく変化する世界情勢を受け、高等教育機関における環境配慮型大学構築への要請が高まっています。特に欧米では、サステイナブルキャンパス構築に向けた大学間ネットワークを構築し、評価システムを導入するなど、取り組みが進化しています。我が国においても、キャンパス整備における省エネルギーの推進、学生に対する環境教育の充実、キャンパスサステイナビリティを推進するための組織整備など、サステイナブルキャンパス構築に向けた様々な取り組みが推進されてきていますが、依然として省エネルギー、CO₂削減、交通計画、廃棄物問題等のハード面の環境配慮活動と、環境教育、地域連携、食の問題、運営手法等のソフト面の取組は分断された状況にあります。

2008年7月のG8大学サミットで採択された「札幌サステイナビリティ宣言」においては、「大学は、サステイナビリティ実現のために共進していく原動力」としての使命を果たし、「キャンパスを用いて新しい社会モデルを実験する」と謳われています。大学を社会の実験の場にするのは、将来社会のサステイナビリティを担っていく学生たちに必要なスキルや行動様式を育むという点においても重要です。換言すれば、キャンパスは実験の場であると同時に教育の理想的な教材であり、大学はサステイナブルキャンパス等の活動を通して次世代の社会づくりに貢献することができると言えます。つまり、今般の社会情勢を踏まえたサステイナブルキャンパス構築の取組を推進することが、次世代の人材育成を担う大学の責務であり、この取組を加速化させることが、今まさに急務となってきています。

本シンポジウムは、国内のサステイナブルキャンパス構築の取組推進を加速させ、持続可能な環境配慮型社会の構築に貢献することを趣旨として発足する「サステイナブルキャンパス推進協議会（CAS-net JAPAN—Campus Sustainability Network in Japan—）」の総会・分科会と同時に開催し、このように時代の要請となっているサステイナブルキャンパスの構築について、ハードとソフトのネットワークをつなぐことを目的としています。また、本シンポジウムでは、諸外国や我が国の先進大学における取組を紹介し、諸外国と我が国の手法の特性や方向性について議論し、サステイナブルキャンパス構築に向けた知見と今後の方向性を見いだすことを意図しています。

主催 京都大学施設部、環境安全保健機構、地球環境学学舎
日時 平成 26 年 3 月 26 日 (水) (開場 15:00) 15:30~17:30
3 月 27 日 (木) (開場 9:00) 9:30~17:50
会場 京都大学百周年時計台記念館 (日本語・英語同時通訳有)
京都市左京区吉田本町
全体司会 京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター 助教 浅利 美鈴

対象 CAS-Net Japan 会員、サステイナブルキャンパスの構築や環境教育に
携わる教職員、大学施設系職員、及び関連する公共団体、民間企業等の職員

【26 日】(15:30~17:30)

◇開会挨拶◇ 京都大学 理事・副学長 (財務・施設・環境安全保健担当) 西阪 昇
◇来賓挨拶・施策紹介◇ 文部科学省 大臣官房文教施設企画部計画課整備計画室室長 森 政之
環境省 総合環境政策局環境計画課長 近藤 智洋

◇基調講演◇

Ms. Stephanie A. Herrera, AASHE* Executive Director (USA)

*AASHE : The Association for the Advancement of Sustainability in Higher Education

【27 日】(9:30~17:50)

◇国内外専門家の講演◇ (3 グループによる発表及び討議)

ファシリテーター

京都大学大学院地球環境学学舎 准教授 トレイシー・ガノン

准教授 ジェーン・シンガー

京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター 助教 浅利 美鈴

講演者 9 名

Prof. Frédéric Le Blay, Vice President, responsible for Studies and Student Affairs, The University of Nantes (France)

Ms. Kira Stoll, Sustainability Manager, Office of Sustainability, University of California, Berkeley (USA)

Ms. Leanne Denby, Director of Sustainability, Macquarie University (Australia)

Dr. Awangku Hassanal Bahar Bin Pengiran Bagul,

Director of EcoCampus Management Centre, Universiti Malaysia Sabah (Malaysia)

Mr. Orion Henderson,

Director, Sustainability and Engineering, The University of British Columbia (Canada)

朴 恵淑 三重大学理事・副学長

倉阪 秀史 千葉大学法経学部総合政策学科 教授 (千葉大学環境管理責任者 (教員系))

小篠 隆生 北海道大学大学院工学研究院 准教授 (サステイナブルキャンパス推進本部 部門長)

中村 隆行 京都大学施設部長

◇パネルディスカッション◇

「サステイナブルキャンパス構築に関する今後の展望」

司会 京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター長 教授 酒井 伸一

☆パネリスト☆

Prof. Richard Howitt, Professor of Human Geography and Director, Macquarie-Ryde Futures Partnership, Macquarie University (Australia)

Ms. Stephanie A. Herrera, AASHE Executive Director (USA)

阿部 治 立教大学 ESD 研究所長 教授

小竹 舞 NPO 法人エコ・リーグ Campus Climate Challenge 実行委員会委員長

ショウ ラジブ 京都大学大学院地球環境学学舎 教授

◇閉会挨拶◇ 京都大学環境安全保健機構長 教授 大寫 幸一郎

◇レセプション◇ (18:00~20:00)